



町道認定については、関係課と協議しながら検討することとなった林道赤松線(飯岡地区)



阿部幸一議員

## 道路行政

# 林道赤松線を町道認定に

## 関係課と協議しながら検討

**質問** 林道赤松線を町道認定できないか。

**沼崎町長** 林道赤松線は、林道開発事業として整備され、「林道台帳」に登録されているものである。従って町道への所管替えは、今後の維持管理や改良などに国や県の補助導入を見据えた総合的な判断が必要と捉えている。しかし、舗装改良以来、交通量の増加や沿線

への住宅の建設など環境の変化が著しいこともあるため、これらも含めて検討課題としたい。

**質問** 最近では、織笠方面からの交通量が多くなり、利用している町民から道路の幅を広げてほしいとの要望がある。国なり県に早期に要望して、宅地が張り付く前に町道認定して、全幅5mの道路にする努力をする

## 議員8人が一般質問

**質問** 一般廃棄物の許可業者4社の中で、個人から法人に変更したものはないと思うがどうか。

**沼崎町長** 現在、一般廃棄物の許可業者は4社であり、すべて法人である。このうちの2社については、平成8年と平成17年に法人成りしている。

**質問** 宮古地区広域行政組合で平成17年から一般廃棄物処理の委託が始まった。入札を行った時点は個人であったが、その後、法人となっている。この業者につ

## 廃棄物処理

# 法人化した廃棄物処理業者は

## 許可後2者が個人から法人に

いては、町から他の業務でも委託を受けており、当初から法人になるといううわさがあった。法律的には違法性はないが、対外的に見るとやはり好ましくないのではないかと。これは町民の声である。今後、このようなことが起きないように配慮すべきと思うがどうか。

**民生生活課長** 法令などに照らし合わせて委託契約が成立しており問題ないと認識している。今後、法令にのっとり広域行政組合と協議しながら進めたい。

べきではないか。

**宇澤産業振興課長** 林道赤松線については、山田側で

宅地化が進んでいることから、今後については、町長町道担当の地域整備課と協議しながら検討したい。

**質問** 冬場は大変である。国なり県に働きかけ早急に対応してほしいが。

**宇澤産業振興課長** 誠意をもって対応したい。